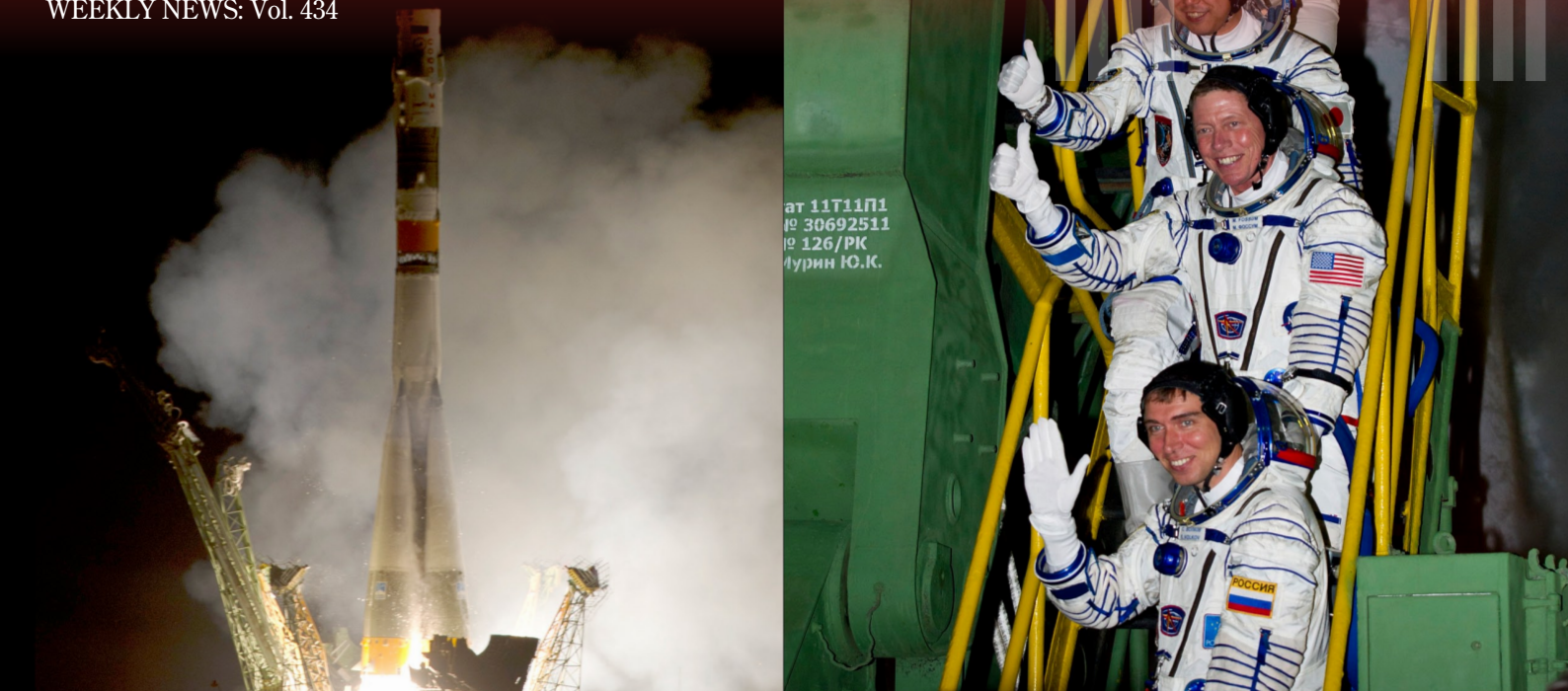


ISS・きぼうウィークリーニュース

International Space Station (ISS) / Japanese Experiment Module "Kibo"

WEEKLY NEWS: Vol. 434



(右) ソユーズ TMA-02M 宇宙船に搭乗する 27S クルー、(左) ソユーズロケットの打上げ (出典: JAXA/NASA/Carla Cioffio)

トピックス

古川宇宙飛行士らに乗せたソユーズ TMA-02M 宇宙船、打上げ成功

古川宇宙飛行士ら国際宇宙ステーション (ISS) 第 28 次 / 第 29 次長期滞在クルー 3 名に乗せたソユーズ TMA-02M 宇宙船 (27S) は、6 月 8 日午前 5 時 12 分、カザフスタン共和国のバイコヌール宇宙基地から打ち上げられました。

バイコヌール時間 6 月 6 日、宿泊先のコスモノートホテルで打上げ前最後の記者会見を行った古川宇宙飛行士は、「素晴らしい仲間恵まれ、ISS で 5 ヶ月半、仕事をしたい」と ISS 長期滞在に臨む決意を語りました。

打上げ当日、古川宇宙飛行士らは、コスモノートホテルを出発してバイコヌール宇宙基地へ向かい、ソコル宇宙服の着用やフィットチェックなど、打上げに向けた準備を行いました。その後、出発式を終えて射点へ移動し、6 月 8 日午前 2 時 42 分頃にソユーズ TMA-02M 宇宙船への搭乗を開始しました。

同日午前 5 時 12 分、ロシアのソユーズロケットにより打ち上げられたソユーズ TMA-02M 宇宙船は、同日午前 5 時 22 分

頃にソユーズロケットから分離しました。分離後には太陽電池パドルと通信アンテナが展開され、順調な飛行が続いています。ソユーズ TMA-02M 宇宙船は、6 月 10 日午前 6 時 22 分に ISS ヘドッキングする予定です。

ソユーズ TMA-02M 宇宙船と ISS 間のハッチオープン、古川宇宙飛行士らの ISS への入室および入室後の交信イベントの様子は、6 月 10 日午前 8 時 30 分から 9 時 30 分の間、インターネットなどでライブ中継を行いますので、ぜひご覧ください。また、筑波宇宙センター (TKSC) など様々な施設でパブリックビューイングを予定しています。詳細は古川宇宙飛行士長期滞在ページをご覧ください。

なお、同ページでは古川宇宙飛行士の ISS 長期滞在ミッションについて詳しく説明したプレスキットの掲載や、古川宇宙飛行士への応援メッセージの募集、古川宇宙飛行士の壁紙の配布など、様々なコンテンツを公開しています。皆様のアクセスをお待ちしています。



打上げ前の記者会見を行う古川宇宙飛行士 (出典: JAXA/NASA/Carla Cioffio)



出発前にコスモノートホテルでサインをする古川宇宙飛行士 (出典: JAXA/NASA)

Website info

古川宇宙飛行士 ISS 長期滞在ページ

http://iss.jaxa.jp/iss/jaxa_exp/furukawa/

古川宇宙飛行士 ISS 入室ライブ中継

http://iss.jaxa.jp/iss/jaxa_exp/furukawa/library/live/

古川宇宙飛行士 Twitter で最新情報をチェック!

http://twitter.com/Astro_Satoshi



「きぼう」で行った実験成果を回収、船外実験装置の観測運用を継続

「きぼう」日本実験棟で実施した「植物の重力依存的成長制御を担うオーキシンの排出キャリア動態の解析」(CsPINs) 実験などの実験成果が、スペースシャトル・エンデバー号 (STS-134 ミッション) で

地上に回収されました。今後、実験試料サンプルの詳細な分析や成果の確認などが行われる予定です。

「きぼう」船外実験プラットフォームでは、宇宙環境計測ミッション装置

(SEDA-AP) と全天 X 線監視装置 (MAXI) の観測運用が続けられています。

Website info

「きぼう」での実験 (各実験の詳細はこちら)
<http://kibo.jaxa.jp/experiment/>

STS-134 ミッションの状況

エンデバー号は 6 月 1 日に KSC へ着陸し、最後のミッションを終える

6 月 1 日午前 2 時 35 分、スペースシャトル・エンデバー号 (STS-134 ミッション) は NASA ケネディ 宇宙センター (KSC) へ着陸し、最後のミッションを終えました。エンデバー号は合計 25 回、約 299 日間の宇宙飛行を完遂し、スペースシャトルミッションから退役します。

KSC の 39A 射点では、7 月初旬頃に打上げが予定されているスペースシャトル・

アトランティス号 (STS-135 ミッション) の準備が進められています。スペースシャトルプログラムの最後を飾るこのミッションでは、補給物資などを「ラファエロ」(多目的補給モジュール 2) に搭載して ISS へ運搬します。

Website info

ISS の組立フライト ULF6 (STS-134)
<http://iss.jaxa.jp/iss/ulf6/>



エンデバー号の着陸
 (出典: JAXA/NASA/Bill Ingalls)

今週の国際宇宙ステーション



クルーは 27S の到着に向けた準備などに忙しい日々を過ごす

第 28 次長期滞在クルーのポリシェンコ宇宙飛行士ら 3 名は、古川宇宙飛行士ら新たな ISS 長期滞在クルー 3 名を乗せたソユーズ宇宙船 (27S) の到着に向けた準備などに忙しい日々を過ごしました。

6 月 2 日、欧州補給機 (ATV) 2 号機「ヨハネス・ケプラー」のスラストを使用し

た ISS のリブースト (軌道上昇) が行われ、ISS の平均軌道高度は約 4.36km 上昇しました。このリブーストにより、ISS は 27S とプログレス補給船 (43P) の到着に適した軌道高度に調整されました。

43P は 6 月下旬頃にカザフスタン共和国のバイコヌール宇宙基地から打ち上げ

られる予定です。

Expedition 28 Crew

ISS 滞在 63 日経過

アンドレイ・ポリシェンコ (コマンダー、ロシア)
 アレクサンダー・サマクチャイエフ (ロシア)
 ロナルド・ギャレン (NASA)

6 月 10 日から ISS 滞在開始予定

マイケル・フォッサム (NASA)
 古川聡 (JAXA)
 セルゲイ・ヴォルコフ (ロシア)

more information



▶【重力とともに生きる】古川宇宙飛行士との交信イベント参加団体募集 (6 月 13 日 (月) まで)

http://iss.jaxa.jp/iss/jaxa_exp/furukawa/bosyu.html

「宇宙飛行士との対話を通して健康について考える」をテーマに、ISS 長期滞在による医学的な知見が高齢者の健康増進や寝たきりの防止に役立つことを、医師である古川宇宙飛行士との対話などを通じて紹介します。皆様のご応募をお待ちしています。

▶ 7 月 2 日 (土) 開催「金沢発、宇宙への夢・きぼう ～金沢大学・JAXA 連携シンポジウム～」参加者募集 (6 月 24 日 (金) まで)

https://ssl.tksc.jaxa.jp/iss/110702_kanazawa_sympto.php

シンポジウムでは、野口宇宙飛行士が特別講演として第 22/23 次 ISS 長期宇宙滞在報告を行います。参加は無料ですが事前申し込みが必要です。詳細はホームページをご覧ください。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

ISS・きぼうウィークリーニュース 第 434 号

問い合わせ先: 宇宙航空研究開発機構 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター

ホームページ <http://iss.jaxa.jp/> E メール kibo-pao@jaxa.jp

ウィークリーニュースメーリングサービス登録 <http://iss.jaxa.jp/weekly/>

※特に断りのない限り日付は日本時間です。

※「ISS・きぼうウィークリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本ウィークリーニュースから転載した旨を記述ください。